

懇談会実施報告書

- ◎ 地区名 美麻地区
- ◎ 開催日 平成23年11月7日(月)
- ◎ 時間 18:30~21:00
- ◎ 開催場所 美麻公民館 講堂
- ◎ 参加人数 27人
- ◎ 懇談内容 別添 議事録
- 質問等後日回答を要するもの
なし
 - 対応
なし



行政側参加者氏名
美麻支所 支所長 清水 一弘

記録者氏名
美麻支所総務係 高橋 さき子

記録(ビデオ)写真
美麻支所総務係 洪田見 英治

美麻地区地域懇談会会議録

平成23年11月7日 18:30～

美麻公民館 講堂

進行 大塩自治会長

1. 開 会 美麻地区連合自治会副会長

2. あいさつ 美麻地区連合自治会長

昨年は、美麻地区では懇談会の開催がなく寂しかったという声があり、本日開催させていただいた。皆さんの率直なお話をお聞かせいただきたい。

平成18年に牛越市長さんが市長に就任され、大町市の基本構想に「きらり輝くおおまち」を掲げられたことは大変素晴らしいと感銘を受けた。行政は住民を、住民は行政を頼りにしている。その中で住民が輝くことこそが最も大事だと思う。通常の生活で情報が入りにくいなか、今日は、一般の方の参加は少ないが、ぜひ大町市への思いを発していただき、意義ある懇談会にしていいただきたい。

3. 市長あいさつ

お仕事の後、お疲れのところ大勢の皆さんにご出席いただき感謝申し上げます。美麻地区では昨年は開催されなかったため2年ぶり、今回で4回目の地域懇談会となる。その間市政も大きく変わり、地域の状況も大きく変化しつつある。意見交換いただく前に、私の方から市が当面している課題等を15分くらいご説明申し上げ、懇談に入らせていただく。

私は、昨年の6月の市長選で3つの公約を掲げた。その公約について現在の状況を説明させていただきます。

①「松本糸魚川連絡道路、地域基盤の整備」について

今年の6月に、県は、長野自動車道からの分岐点を新たに豊科インターチェンジ北側に設け、犀川、梓川合流地点の少し下流に新しい橋を架けて、堤防の高瀬川右岸道路に接続する案を正式に発表した。安曇野市ではすでに関係者対象に10回の説明会が開催されている。大町市にとっては、大切な起点でもある長野自動車道からの分岐点、地域にとっては非常にコンパクトで期待の持てる内容が発表されている。次は、小谷村の雨中地区で住宅地を通過するという事で夜間の騒音の問題などがあり、県では雨中地区に約2キロのバイパストンネルを掘る計画で、今年度着工の予定で用地買収に着手している。

大町市街地のルート案については、いろいろとご意見をいただいている。大町市商工会議所からは市街地の東側から木崎に抜ける案が適切だというご意見をいただいている。最終的にはこの案をベースにメリット、デメリットを調整していく方法になると思う。この案では大町市の西側に位置する黒部ダム、大町温泉郷へ中心市街地を必ず通過してアクセスすることになり、市街地活性化に繋がる。また美麻地区、八坂地区両方にアクセスしていくためにも東側ルートが適切だと提案されている。私もそのとおりだと個人的に思う。一日も早い着工に向けて意見をとりまとめてまいりたい。

②「安心安全のまち、地域医療の再生」について

大町病院の再生については、一昨年は、常勤の医師が少なくなる等厳しい状態であった。内科医が最悪二人になってしまうのではないかと危機的な状況であった、大勢の皆さん、

特に信州大学のご支援をいただき、昨年は、新しく4人の内科医に赴任いただき、現在は7人の医師で診療を行っている。心療内科、精神科、人間ドック専門等の医師は、非常勤でお手伝いいただいている。若い看護師も2人新しく入ってもらい地域医療の拠点である大町病院の強化を図っている。

今年の4月からは、美麻診療所と大町病院とのネットワークをより強固にしていこうと、週一回大町病院の医師が診療所へ、また牧先生には大町病院での診察を担当していただく等連携をいただいている。こうした中で地域医療はなくてはならない存在であり、あるのが当たり前と思ってもいざなくなってしまうと再生するときは大変困難が生じるものである。まさに卵を一回割ってしまえば戻らないという側面を持っている。今後の現況を踏まえて、大町病院の事務長と二度にわたり本日も意見交換をしている。

その中で、一つには昨年の病院の決算が、4億7千万の単年度赤字計上であったのが22年度は、2億4千万に圧縮できた。今年度は、まだ年度途中で確かな事は言えないが約1億5千万円という経営改善がすでにされている。年度の終わりまでに緊張感を持ち続け適切な医療を行い、経費の節減や収益の増加にさらなる改善を図ってまいりたい。

③「雇用の場、産業振興」について

市内の中堅、大手企業の業績をみるとリーマンショックの影響から立ち直りつつある傾向の中で、多くの企業の設備投資が実際に始まっている。昭和電工は今年度から数年間に分けて120億円の設備投資を行い、現在ある生産設備を新しくしていく取り組みを行っている。

ニチコンはコンデンサーの部品素材などを製造している会社で、6月に大規模な工場の増設を行っている。また水の工場でも第2工場を増設した。さらに増設の計画もあり、大企業の発展が中小企業へと発展することを期待している。東日本大震災の影響や最近の急激な円高、さらにはヨーロッパにおける経済不安に端を発する経済動向がどうなるか充分見極めながら地域産業の活力が失われないように、市としても産業建設を進めてまいりたい。

現在も、東洋紡跡地利用については、いくつかの案はでていますが、これもしっかり地に足をつけながら進めてまいりたい。

さらに2つの当面する課題が出てきている。一つは安心して住めるための防災対策である。現在、市としての地域防災計画を策定している。従来のような形ばかりの計画ではなく、災害時、市民の皆さんに避難等の対応を的確に提示していけるかが行政の大きな責務だと考える。身近な災害や今回明らかになった放射性物質などからも身を守るなど、幅広い対策を講じていきたい。

もう一つ最近皆さんにご心配をおかけしているごみ処理施設建設についてお話したい。昨年10月に広域連合のごみ処理施設検討委員会により三日町を最終候補地とする答申がなされた。候補地「三日町自治会」には生活環境影響調査への同意をお願いしてきたが、三日町自治会では住民投票で賛否を問い、「反対」という結果が打ち出された。議会の皆さん、他の関係者の皆さんとも色々な意見調整をしていただいている。なくてはならない施設として認識はされているが感情論が先行している。仮に三日町以外に候補地を見つける事になればこれも新たな悩ましい問題で、いやなものはいやではどの候補地においても同じ結果になる心配はあり、慎重にどういう方法が良いのか考えていきたい。

現在の一般廃棄物の処理施設が適正に運営され、周辺の皆さんに悪影響を与える事がなく、健康被害も起こらないことが実証されている全国1200箇所の廃棄物処理施設の状況などを視察いただいているかどうかと思う。また、ごみ処理施設建設を受け入れていただくために

は同時に地域振興策を提示していく事も必要ではないかとも考えている。いずれにしても、市内になくてはならない施設として円満に解決できるよう努力してまいりたい。

美麻地区においても人口の低迷、減少には歯止めが利かない。また大町市全体、全国的にもそういう傾向ではあるが、何とか新しい対策を講じていかなければならないと考えている。そのためにも大町市全体、美麻地区の課題について積極的なご提案をいただきたい。冒頭、会長さんのごあいさつにあったが、実のある懇談をお願いしてあいさつに代えさせいただく。

4. 懇談会

出席者

市民農園について開設から20年が経過し、最初から入居している人が別荘代わりに使用しているのではないかと思われる。当初は地域活性化が目的であったが、今は、悪く言えば居座っている状態。大塩に3件、二重も3~4件退去したが、今後の入居者のためにも目的をはっきりさせ、別荘代わりに利用することはやめていただきたい。

市長回答

大町市にとって市民農園は大きな地域資源だと考えている。昨年懇談会に出席させていただいた折、この地域が好きで来られているが、最初の入居の目的意義が薄れて、実際は名義変更することなく同じ人が長く棲み続けている。悪く言えばたらいまわし的に使ってしまう、新たな人を入れることができない状態であるとお聞きした。昨年から多くの人に利用していただくよう整備しながら、適正な姿にしようと取組んでいる。いろんな観点から見直しを取組んでいきたい。

出席者

長く住んでいる人にはふるさと納税を納めている人もいるが、正式に住民になってほしいと考える。大町市の住民になって税金も納めていただきたい。

空き家等も利用し、今月アンケートを実施しているが、市民農園の人も入居して欲しいと考える。

市長回答

市民農園に長く住んでいる方に対し、空き家を利用し定住を勧めてはという具体的な提案をいただきありがたく思う。

八坂地区では、地域づくり協議会の皆さんが調査し、空き家活用が早くから行われている。3年前、市では空き家調査を実施した。その結果不動産業者と提携して売買等の仲介をしてもらうなど試みたが、取引も数件という苦い経験をした。実際借りたい人、求めている人もいると思う。インターネット等で紹介はしているが情報を上手く伝えることは難しいと思う。

出席者

空き家対策の話が出ているが、私の地区も7軒ほど空き家があり、そのうち3軒が市外から移住しているが、地域との絆がないのは淋しい。

また、市長さんのあいさつの中に企業への設備投資が始まったという嬉しいお話であるが、

反面、オートメーション化して人員削減に繋がるのでは困る。

もうひとつ、家でも老人介護をしているが高齢化が進み、その対策についてもお聞きしたい。

市長回答

昨日「市民参加と協働のまちづくりフォーラム」に出席した。市内の大黒町のような密着したまちでも地域への思いなど連帯感も薄れていると伺った。自分の生活を守ることは大事だが孤立してはならない。定住は、資産を得ることが目的ではない。地域の活力となってもらいたい。交流の中に生きる活力を見出したい。そんなことを定住希望者に説明していきたい。

また、過疎対策として平成24年から具体的な計画にはいることになっている。現在の集落に住み続けるという設定で要望等まとめたい。

2番目の設備投資の話は、合理化が進まないようにしていきたい。ただ人員の減少には限界もある。現在の人員も維持してもらおうよう要望している。オートメーション化は予定されているが機械を扱うのは人であり、50名くらいは市内から新規に雇用していただけることになると思う。

3番目の高齢化、介護等への対策は、最終的に自助・共助・公助をうまく連携させながら取り組むこととする。認知症ケアは家族だけでは無理であり、隣近所の助け合いは必要不可欠である。これも公的制度を活用して支援していきたい。

出席者

市営住宅に3人が入居している。電気はついているが自治会へも加入してない。支所へ聞いても知らない。自治会でも何も知らない。入居の際、市役所で自治会加入について説明できないのか。

市長回答

市営住宅入居は建設課が窓口となっている。少なくとも支所へは連絡する。自治会への案内は建設課ではしないが、市民課の窓口で転入届け等の手続きの際、自治会加入の案内をしている。残念なことに、自治会とは任意団体であるので加入を強制できないが、行政としても自治会加入について積極的にご案内するよう指導して行きたい。

出席者

入居した人に自治会加入の話をしたら市役所からは聞いてないという。きちんと知らせてほしい。

市長回答

自治会の加入率の高いのは、長野市、伊那市である。大町市でも自治会に入らないと何もできないということはないが、地域のつながりは重要なことであり、支え合いは必要であると考え。窓口での対応を強化する。

出席者

老人クラブについて、現在地区で加入して補助金をもらっている。会議等到大町まで出て行くのが大変で体力的にも厳しく、もう少し融通を利かせてほしい。美麻でも一地区が脱退した。脱会が増えると良くないが老人クラブ加入者にとっては情報がほしい。老人クラブ連合会から補助も増やして欲しい。年8～9回公民館で高齢者学級をやってもらっている。75歳以上なので老人が老人の面倒を見ることになる。無駄話の中にもアイデアは出る。

市長回答

さまざまな芸術活動をいただき、地域にとってありがたい。市の中心へはむずかしいと思うが市全体の組織とそれぞれ違っていてもよい。是非、美麻特有のアイデアを持って活動してほしい。助成は一本化して行っているのもむずかしい。市の仕組みとして、メモリアルな例年がない、大きな節目の事業は考えたい。

診療所医師

大町病院との連携であるが診療所の活動として直接住民に関わる仕事をしたい。来年度から地域の集まりにも呼んでもらうよう話している。診療所において患者を待つのではなく、こちらから訪ね、積極的に関わりたいと思う。

これからは予防が大事だと思っている。地域を知ることは絆にも繋がる。私は美麻が好きで美麻に来たが良い所だと思う。自治会へは私も最近加入した。提案として広報は市民全戸に行くのだから自治会へ入らざるを得ない状態にすればよい。

病院の管理者は市の職員だが、病院経営は特殊であり、できれば病院に骨をうずめるくらいの覚悟の職員がほしい。病院職員は経験がいるので親身になる量がちがう。

DPC(診断群分類包括評価を用いた入院医療費の定額支払い制度)になったのだから別のところから意気込み、自覚ができるようにして行くに戻ってくる。私は、医療のことでは美麻地区に専念したい。

市長回答

先生には感謝申し上げます。地域に出たいという希望はぜひ実現していただきたい。地域の皆さんも感謝すると思う。私の許可は必要ない。

病院の事務職の件は、人事異動は特性、また本人の希望で行っている。採用も狭い範囲で実施し、どのように育てていくかが問題であり、去年は叶わなかった。夏の採用は病院職員で若干名のところ6名を越えた。病院採用だけでは、適任の人はいなかった。骨をうずめるくらいの気持ちが必要であり、職員の中には一生いても良いという人もいる。

診療報酬事務は委託しているが収支をにぎる重要な部分なので、10月1日から任期付きで専門職を採用し、組織の確立を図ってもらうよう話をした。働きやすい環境を応援していきたい。

出席者

ニチコンの話が出たが、経営が安定していて喜ばしいと思う。残念ながら美麻地区には何もない。

国営公園についてはやっていることが見えてこないが、市はどのような活用を考えている

のか。

市長回答

国営公園は、今年約13万人を越える入客数があった。全国でも特に冬の来客数を見込めるところはあまりない。国営公園は国が直営で運営しているが、民間会社や地域も運営に参画している。公園内のレストランではできるだけ地域の食材を取り入れ、松川地区、常盤地区のボランティアの皆さんの協力なくしてはやれないというほどになっている。

また、黒部ダムへの観光客が雨対策に訪れるケースも増え、足を止め滞在していく観光へとシフトしている。冬季はクリスマスイルミネーションやかんじきなどで雪の中を歩く体験などを企画しており、大勢の人に知ってもらい、親しんでもらうことが大切であるとする。

出席者

4年ほど前隣組の再編成をした。12軒あった隣組で役員をまわしていけない状態になってきている。仕事は都会にしかなく、若者は都会へ出ると戻らない。故郷とのつながりも親、兄弟くらいしかなくなってくる。街中に住んでいれば70歳後半でも役はできる。人家が300軒ほどしかない美麻地区では割り当てられた作業もできない状況である。

空き家は、市内より美麻のほうが少ないと思う。「美麻の良いところアンケート」を実施してはどうか。生活をするには、年をとったら不便であり、車がないとさらに不便。これから先私達の20年後の見通しは厳しく、不安を感じる。

市長回答

自治会加入者の負担が大きいと聞いている。自治会運営の簡素化をしてはいいかがか。老人クラブも同じで簡素化するなど工夫をしてはと思う。

私は、常盤泉の貝原という全戸23軒の隣組に加入している。課題が無いわけではない。80歳以上の一人暮らしの方には雪かき当番を軽くして、除雪機を持っている人と持っていない人とを組み合わせ当番に当てたりと工夫をしている。15センチ以上雪が降ると雪かきに出たりと年1回は当番が回ってくる。

若者が都会から地元に戻って来るタイミングが大切だと思う。広報等で市内の企業の紹介をしているが、親御さんから子どもさんに情報を伝え、地元に戻って来るよう伝えていただきたい。労働力には移動性がある。実際に労働条件が良いからといってすぐ働くというものではない。タイミングの合う時期に、その人のニーズに合わせた働きかけをしていきたい。地元に住む魅力を親御さんから語ってもらいたい。私も自分の娘には、そう呼びかけている。

近所に名古屋から移り住んで来ている人がいる。安曇野に住むか迷ったが雪のあるところを選んだという。また、自分の人生を豊かにするために神奈川県平塚市より移り住んだ人もいる。平塚の仲間が入れ替わり大町にやってくる。大町の良さは、他県から来る人の方が分かっている気がする。我々も大町の良さを、魅力をどんどん発信することが大切だと考えている。

出席者

青具の道路の関係だが、車がスピードを出して走行するので怖くて道路を渡れない。大型車は100キロくらいスピードを出している。夜間も青具の中村家前の交差点では、信号を無

視して赤になっても通過している。大変危険であり、良いアイデアはないか。

市長回答

交通面は警察、交安協の担当である。信号機はむやみに設置しないようにと規制緩和の流れに変化してきている。しかし必要な所には設置している。

具体的に必要な場所をあげてほしい。事故に繋がる前に警察へは私の方からも要望し、申し入れをする。

出席者

空き家対策について、若い人が訪ねてきたので色々話したが自治会への加入が負担らしい。行政からも指導できないか。

市長回答

自治会加入が壁なのかわからないが、基本的には話をしてみることが本来のあるべき姿だと思う。今迷い悩んでいる人には負担に感じるかもしれない。行政には強制力はないが、多くの人に話をして理解を示してもらおうのが一番良い。

出席者

最後に美麻地区として陳情を行うが、先日自治会長会で陳情内容をまとめたのでここで陳情事項を会長から紹介してもらったらいかがか。

会長

美麻地区として地域を良くしたいと願い陳情事項を各自治会からいただいた。

内容は

- ① 支所機能の充実
- ② 学校及び保育園の存続
- ③ 福祉企業センター建替え事業
- ④ 県道の整備
- ⑤ 簡易水道統合整備事業
- ⑥ 地域高規格道路の整備促進
- ⑦ 三日町北交差点整備
- ⑧ 道の駅トイレ臭気対策

支所長

ここで本日出席できなかった方から提案を預かっており代読させていただく。

焼却施設の熱利用について：都市においてごみの処理は大きな問題であるが、東京、神奈川地区では、熱を利用して家庭にお湯の供給を行っている箇所もある。その後問題が発生したと言う事は聞いていない。あるいは、現在のエネルギー問題を考慮して、小火力発電も可能かと思われ、排気ガスの弊害を利益に繋ぐことができると思う。

市長回答

ごみ処理施設は熱焼却施設であり、発生する熱はさまざまな活用方法がある。処理能力は40トンで、松本市の10分の1程度の処理能力では温水プールへの利用は無理。現在処理場のある山下地区には、周辺の家庭にパイプで給湯している。市としても有効利用を考えているとお伝えしていただきたい。

5. 市長お礼のことば

沢山の貴重な提言をいただき感謝申し上げます。市政に反映させていただきたい。まだ話足りないという方は、市長への手紙等でご提言をお願いしたい。市としてもこれらが無駄にしないよう努めて行きたい。冒頭で申し上げたが自助・共助・公助で大町市を明るく住みやすい安心なまちづくりをしていきたいと考えている。

6. 閉会 千見自治会長